

## 釜石発

## 3年を経て卒業アルバム



配られるはずの卒業アルバムが津波によって流されてしまった釜石市の唐丹小学校の卒業生たちに3年の時を経て地域住民手作りのア

ルバムがプレゼントされました。震災当時唐丹小学校6年生だった子供たちも今は中学3年生。3月12日に卒業式を終えました。地域の人は遠くは宮古まで足を延ばして当時の教職員などが撮影した画像を捜し歩きアルバムを制作、子供たちに贈りました。諦めかけていた小学校の思い出が詰まった贈り物に子供たちは大喜びでした。

(3/24 ニュースエコー)



## 盛岡発

## IBC震災募金に寄付

2月に行われた岩谷堂箆笥まつりの売上の一部がIBCの震災募金に寄付されました。岩谷堂箆笥生産協同組合の三品健悦理事長と八重樫公人専務理事がIBCを訪れ、IBC震災募金にと18万円あまりを寄付しました。この寄付金は奥州市で開催された岩谷堂箆笥まつりの中でのチャリティ販売の売上の一部です。生産組合では「義捐金が被災した方の生活に役にたてれば」と話しています。(3/25 ニュースエコー)



## 大船渡発

## 「津波記憶石」建立



「集落は高い所に!」、先人の教えを後世に伝えていこうと、大船渡市に『津波記憶石』が建立されました。大船渡市三陸町の吉浜地区は、明治・昭和の2度の津波を教訓に、集落あげて住まいの高台移転を行い、東日本大震災での犠牲者は1名にとどまりました。この教えを後世に語り継ごうと、全国各地の石材店が加盟する全優石の支援で、『津波記憶石』が建立されたものです。石碑には「吉浜奇跡の集落」の文字が刻まれ、先人の戒めを後世に伝え、風化を防ぐ役割を担います。(3/25 ニュースエコー)

## 盛岡発

## 「通リゃんせ基金」贈呈式

被災地に音の出る信号機と福祉機器を贈ろう」をテーマに放送で募金を呼びかけたIBCラジオチャリティーミュージックソンの基金贈呈式が



きょう行われました。IBCラジオチャリティーミュージックソンは今回で36回を数え、12月にメインのラジオ生放送が行われました。今回は1170万4714円の募金が寄せられました。きょう行われた通リゃんせ基金の贈呈式には県内の福祉団体の代表者などが参加し、18の施設に福祉機器やパソコンなどが贈られました。また、音の出る信号

機は・大船渡市の大船渡小学校前、釜石市のせいりつ記念病院前、それに宮古水産高校前の沿岸3か所に設置されることが決まっています。(3/26 ニュースエコー)



## 陸前高田発

## さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、ワカメの加工場から中継で伝えてくれました。お話を伺ったのは、代々ワカメの養殖漁家という佐々木節さんです。佐々木さんも被災当初は途方に暮れる状態だったそうですが、その年の7月に何とかワカメの種を取り、翌2012年には刈り取りができるようになったという事です。3月はワカメの収穫、加工の最盛期で、浜は朝早くから人が行き交い活気にあふれます。収穫したワカメは茹でられ、海水で冷やして塩をまぶし加工場に運ばれます。今年の出来は良



いという事で、皆さんも、ぜひ陸前高田の美味しいワカメを食べて欲しいと話していました。(3/26)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122